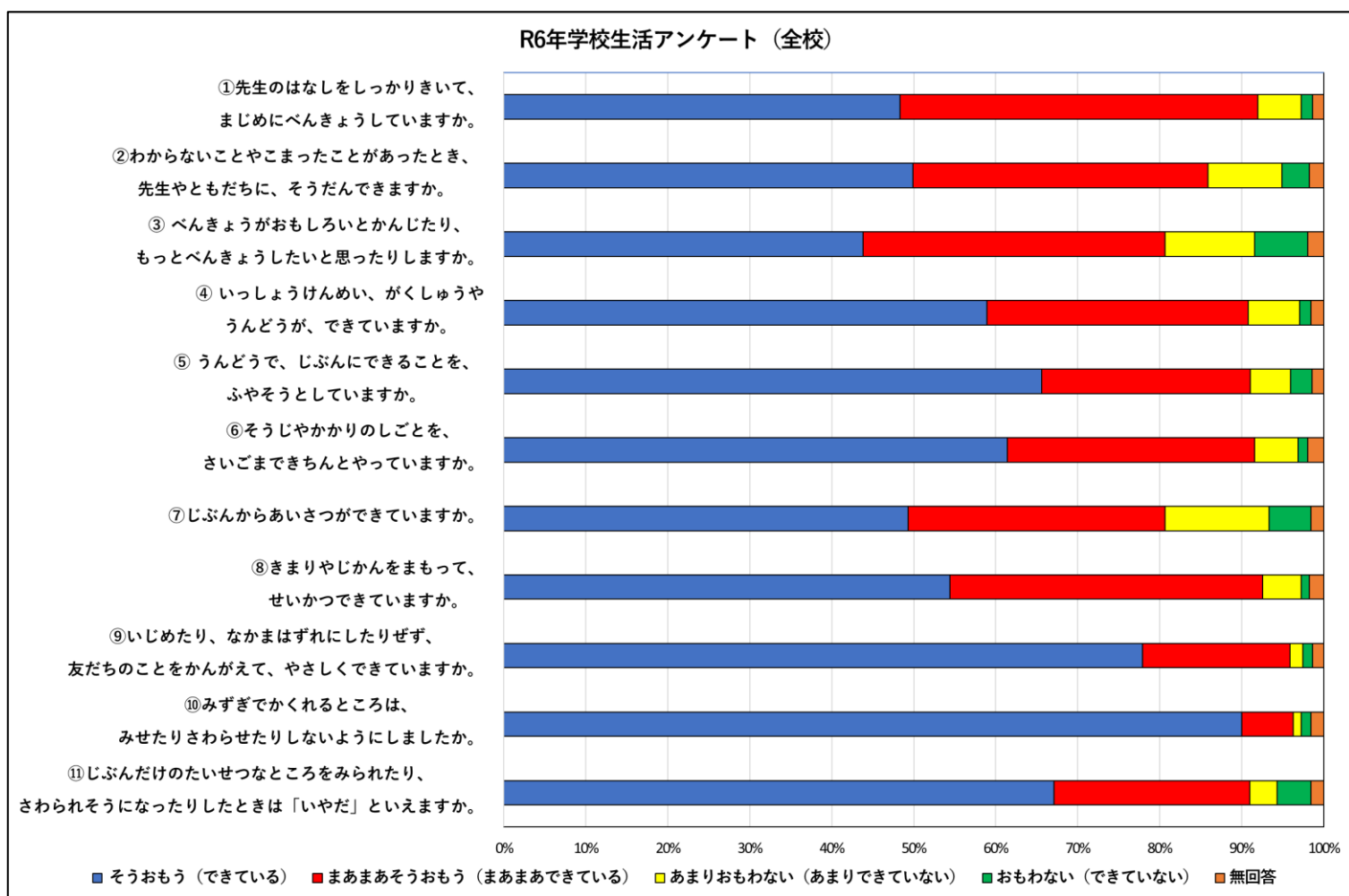


Ⅰ 学期の学校生活アンケートの結果について

Ⅰ学期末に「学校生活アンケート」を実施した結果をお知らせします。昨年度に引き続き、「生命の安全教育」に関する質問項目⑨⑩を入れて行いました。

「生命の安全教育」とは、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人ひとりを尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けることを目指すものです。本校では、文部科学省が推奨する「生命（いのち）の安全教育動画教材」を用いて学習しています。

質問事項⑩「水着でかくれるところは見せたり、さわらせたりしないようにしましたか」と質問事項⑪「自分だけの大切なところを見られたり、さわられそうになったりした時はいやだと言えますか」については、9割を超える児童が肯定的な回答をしましたが、全員が「いやだ」と意思表示できるよう、今後も自分や相手の心と体を大切にしていける取組を進めてまいります。



また、質問項目③「勉強がおもしろいと感じたり、もっと勉強がしたいと思ったりしますか」について、肯定的な回答をした児童の割合が高かったことについては、教職員一同大変うれしく感じているところです。今後も「授業のはじめに“めあて”を提示し、児童が見通しをもって学習に取り組める工夫」「探求したくなる導入部や展開部の工夫」「ふりかえりの時間を確保し、学びを自覚させる工夫」を意識して取り組んでいきます。

一方、質問項目⑦の「自分からあいさつができていますか」については、肯定的な回答をした児童の割合がやや低い結果となりました。まずは、我々大人が子どもたちにとってよい手本となるよう、あいさつの花を咲かせていけたらと思います。

